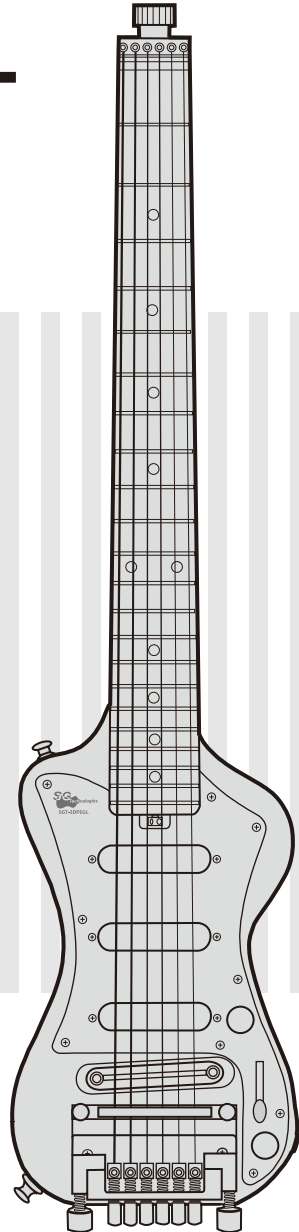
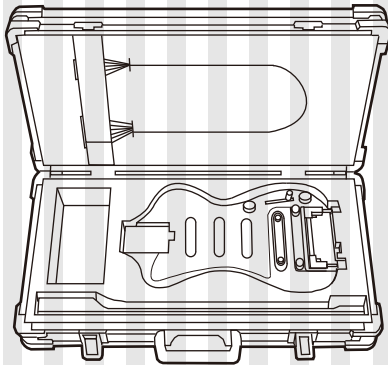




3 Dividable Portable Electric Guitar

SGT-3DPEGL

Owner's Manual



SG Technologies, Inc.

Contents

1	使用上のご注意	1
2	保管、メンテナンス	1
3	ギターと付属品の確認	2
4	ギターの各部名称	3
5	ギターの組み立て	4
6	チューニング	5
7	弦ユニット、ネック、ボディの分離の仕方	6
8	弦交換の方法	7
9	ギターの各部調整方法	9
10	製品仕様	10 (裏表紙)

1 使用上のご注意

1-1. 改造・修理について

ギターの改造・修理は故障の原因となり、また感電の恐れもありますのでご注意ください。弊社以外での改造・修理は、たとえ部分的であってもギター全体が保証対象外となる場合がありますのでご注意ください。

1-2. ヘッド側の弦による怪我に注意

ヘッドに巻きつけた弦がカットされた後、適切な処理をされていない場合（例えば弦が長めにカットされ飛び出ているなど）、指に弦を刺すことがありますので取り扱い時には十分ご注意ください。

1-3. フレットのエッジによる怪我に注意

出荷時は、フレットのエッジを十分研磨してありますが、ネックのそりや乾燥状況によりフレットのエッジがはみ出る場合がありますので、怪我にご注意ください。

1-4. ギターの着脱は手順どおりに

特にネックとボディを連結している大型ボルト2本が、しっかり締まっている（組み立ての場合）ことを確認し、弦ユニットを装着してください。しっかり、締まっていない場合、弦ユニットによって怪我をする場合があります。

1-5. 推奨の弦は09-42～10-46

本ギターは出荷時に09-42弦がセットされています。最大11-49程度まで使用可能です。

1-6. 湿気の多い場所での使用は避けてください

雨の日の屋外や風呂場での使用は行わないでください。ギターに使用されている精密金属パーツの狂いや、ギターアンプが故障していた場合、シールド線により感電する場合があります。

2 保管・メンテナンスについて

2-1. ギター全体について

ギターを持ち運ぶ以外は3分割せず、組みあがったままの状態にしてください。弦も緩める必要はありません（長期間使用しない場合は、弦を多少緩めてください）。使用しないときは、普段、付属のカバーに入れておきましょう。ギターの清掃は市販のギターケア用品、例えばシリコンクロスなどで清掃してください。

尚、ネックとボディのジョイント部は、夏季と冬季では、膨張や縮小しますので、ネックが多少ボディにはまりにくくなる場合があります。

（普段の保管は、湿度30～50%、温度20～30度程度が望ましいです）

2-2. 精密金属部分について

マスターノブとファインチューニングノブには、ボルト部分に少量の導電性特殊グリスが塗布されています。経年変化でグリスが消耗しノブを回す時にきつい場合は、弊社にグリスを要求してください。即、お送り致しますのでオスねじ側に塗布してご使用ください。また、このノブ部分には、回転をスムーズにするため、特殊なワッシャーが使用されています。もし、破損、磨耗等がありましたら弊社までご連絡ください。ワッシャーをお送りいたします。

3 ギターと付属品の確認

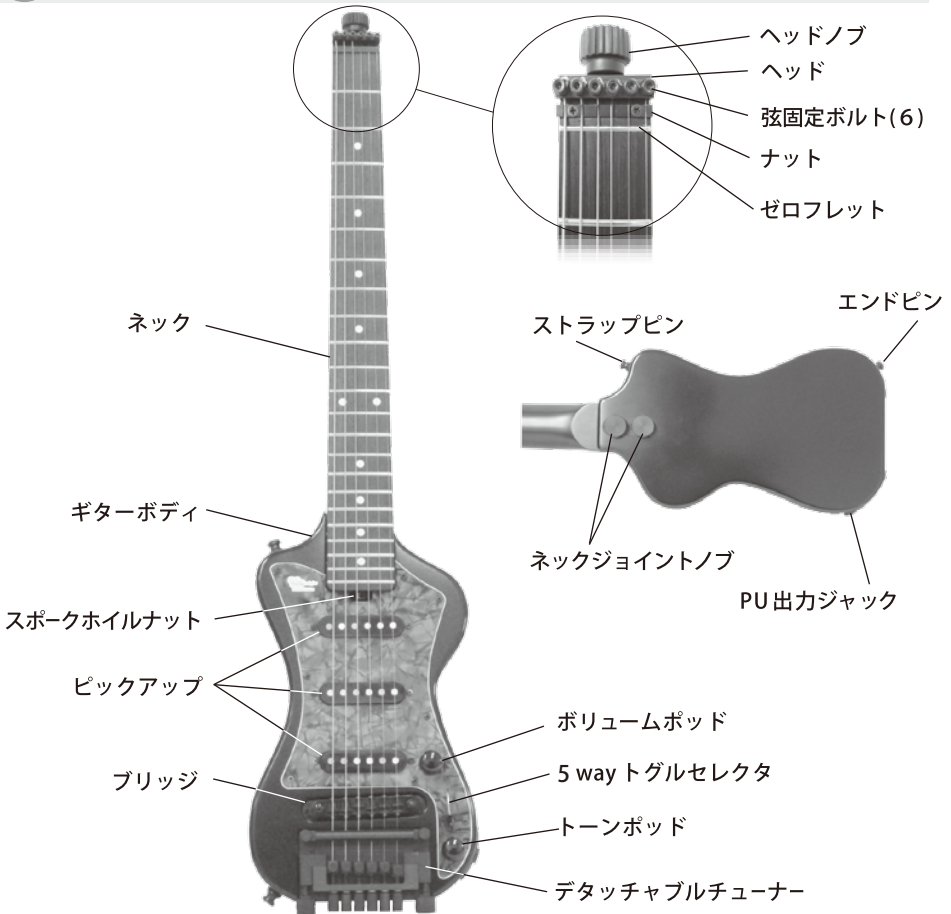
■ オーダーNO.SGT-3DPEGL 11CH/CS (ハードケース付、ピックガードはブラックパールI)

• SGT-3DPEG 専用ハードケース	1
• SGT-3DPEGL ギターボディ	1
• SGT-3DPEGL ギターネック	1
• SGT-3DPEGL 弦ユニット	1
• SGT-3DPEG 専用カバー	1
• SGT-3DPEG 専用ストラップ	1
• 六角レンチ (M3)	1
• スポークホイールナット用 レンチ	1
• SGT-3DPEGL オーナーズマニュアル	1
• 保証書	1

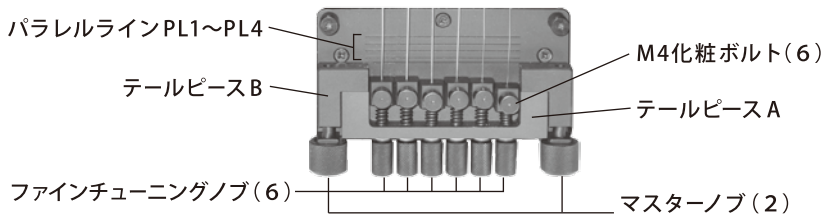
■ オプション

オーダーNO. SGT-3DPEGL TB01
(SGT-3DPEGL シリーズ用テンションバー)

4 ギター各部の名称



デタッチャブルチューナー



* パラレルライン(PL)は、弦ユニットの着脱や弦交換時に目安とするテールピースBの位置決めラインで4本あります。上から順に PL1, PL2, PL3, PL4 とします。

PL2は弦ユニットの着脱、PL3は弦交換、PL4はプレイ可能位置です。PL1は使用しません。

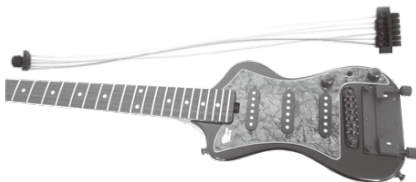
5 ギターの組み立て

(ハードケース付で購入の場合、または既に3分離してあるギターを組み立てる場合)

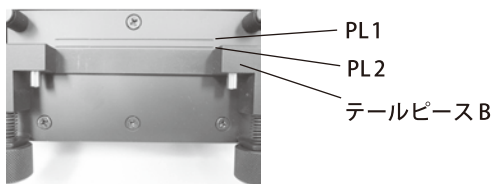
- 5-1. ボディとネックを取り出し、ボディの所定の位置にネックを装着し、ネックジョイントノブ(2本)でしっかり取付ける。この時、無理に力を入れる必要はなく、通常の大人が目いっぱい回せる程度で充分です。



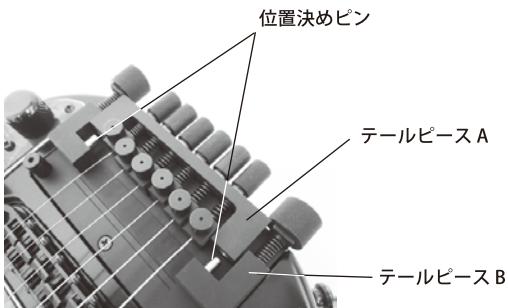
ネックが取り付けいたらギターをテーブルの上などに正面を上にして置きます。



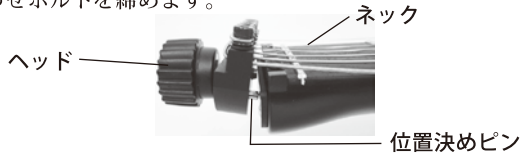
- 5-2. マスターノブを回し、パラレルライン (PL) を見ながら、フロント側から2番目のライン (PL2) にテールピースBを合わせます。



- 5-3. 弦ユニットのテールピースAをテールピースBの位置決めピン2本に合わせながら装着します。



- 5-4. ヘッドをネックに取付けますが、この場合もヘッド側にある位置決めピンとボルトを所定の位置に合わせボルトを締めます。



- 5-5. 1弦から6弦までをブリッジやナットの所定の位置に合わせます。



- 5-6. テンションバーを装着する場合はここでテンションバーを2本のボルトで締めて装着します。



6 チューニング

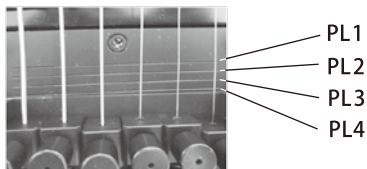
ケーブル接続タイプのギター用チューナーをギターに接続しボリュームポッドを最大にして下さい。

(ボディの振動を拾うタイプのチューナーは取り付け難いため、正確なチューニングが出来ない場合があります)



★ チューニングは5弦→4弦→3弦→2弦→1弦→6弦の順に行います。

- 6-1. 5弦のAから音を合わせます。現在、テールピースはパラレルライン2番目(PL2)の位置にありますがマスタノブを回しながら、平行に後方(PL4側)に移動します(この時マスタノブ2個を両手で同じくらい回すのがベターですが、片手で交互に行う場合は、1回に回す回数は2~3回ぐらいを交互に行いPLに平行になるよう注意を払いながら回してください)。

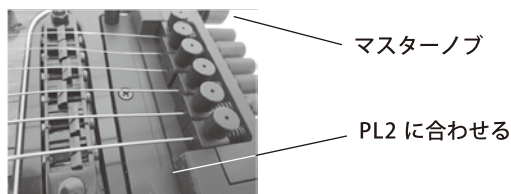


- 6-2. 5弦Aが合ったら次に4弦Dを合わせますが以後は全てファインチューニングノブであわせませす。以下同様3G, 2B, 1E弦を合わせませす。
- 6-3. 最後に6弦のEチューニングを行います。
- 6-4. 再度5弦から1弦と6弦のファインチューニングを行って終了です。以後全体的にチューニングが高いまたは低い場合は、マスタノブで調整後ファインチューニングノブで再調整してください。

7 弦ユニット、ネック、ボディの分離の仕方

(専用ハードケースに収め持ち運ぶ時)

- 7-1. マスタノブを回しパラレルライン2 (PL2) 付近にテールピースを移動します。1弦がゆるくなった時を目安としてください。(1弦が最もテンションが強い)



- 7-2. テンションバーが装着してある場合、2本のボルトをゆるめてテンションバーをはずします。



- 7-3. ヘッドノブを回し、ヘッドをはずし、次にテールピースAをはずします。
これで弦ユニットは完全に分離されます。



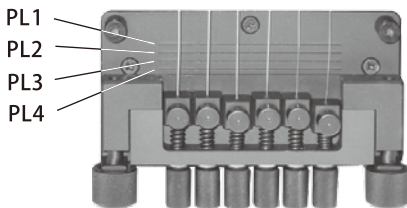
- 7-4. 次にネックジョイントボルト2個をゆるめてネックをボディからはずします。
以上で3分割されました。



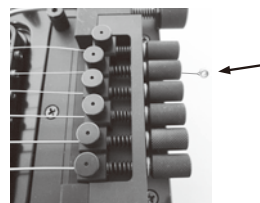
8 弦交換の方法

8-1. 弦の取り外し

- 1) 2個のマスタースローブを回しPL2からPL3あたりまでゆるめます。

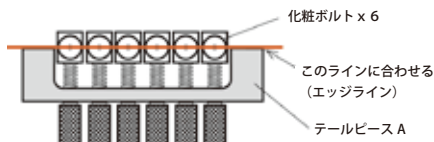


- 2) 化粧ボルト(テールピースAの弦固定ボルト)を反時計方向に数回回し、弦が引き抜きやすいようにしておきます。
- 3) 弦を他に利用しない場合は、真ん中辺りでニッパーにより弦を切断します。
- 4) テールピースAの側の弦を抜きます。(右の写真)
- 5) ヘッド側の弦を六角レンチでゆるめて取り外します。

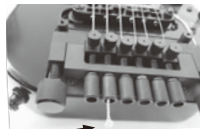


8-2. 弦の交換

- 1) テールピースAの化粧ボルトの頭の中心点をテールピースAのエッジに合わせます。
(交換する弦の化粧ボルトをテールピースAのエッジラインに合わせます。交換しない弦はエッジラインに合わせる必要はありません)



- 2) 弦をファインチューニングノブ側から挿入します。(この時、テールピースAは本体ボディからはずして弦を装着して構いません)



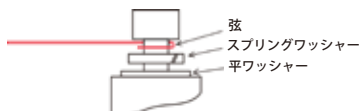
- 3) テールピースAに交換弦全てを挿入したら、テールピースBに装着し、テールピースBをパラレルライン3 (PL3) 辺りに合わせます。0



- 4) ヘッドの穴に弦を通します。
(この時、ヘッドはネックから取り外しておいたほうが作業がやりやすいです)

- 5) ヘッドをネックに装着します。

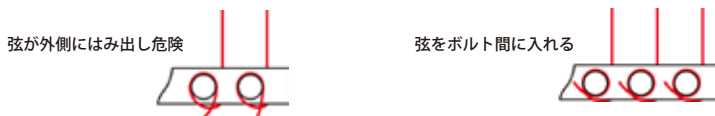
- 6) 太い弦から順に弦をヘッドの固定ボルトに巻きつけ固定します。この時ボルトには上からスプリングワッシャーと平ワッシャーがありますが、弦はボルトの頭とスプリングワッシャーの間に入れてください。



注1) 弦は決して重ね巻きしボルトで締めないでください。弦が切れやすくなります (特に1-3弦)



注2) 弦はボルトに対してはU字巻きつけとし、少し長めに切ってボルト間にラジオペンチがマイナスドライバーのようなもので処理しましょう。(弦の切り口がヘッドの外側に出ていると手で触った時に怪我をすることがありますので、弦の切り口はきちんと処理しておきます)



注3) ヘッドのボルトを六角レンチで締める場合、弦のテンションはたるまない程度に軽く張った状態で六角レンチを回し固定してください。

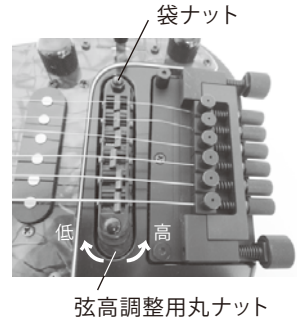
- 7) 最後に化粧ボルトを指で軽くそれぞれ締めておきます。

注4) 化粧ボルトは弦ユニットを本体からはずした時に弦が抜けないように固定するためのボルトですから工具などできつく締めたりしないでください。

9 ギターの各部調整方法

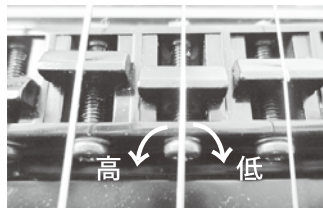
9-1. 弦高の調整

工場出荷時の弦高設定は1弦側約1.6 mm + α 、6弦側約1.9 mm + α ですが更に調整したい場合は、ブリッジの袋ナットを緩めてからブリッジの調整用丸ナットを指などで回し調整して下さい。ナットを時計回りに回すと弦高は低いほうへ、また反時計回りに回すと高いほうに調整可能です。調整終了後は、袋ナットを締めて完了です。(参考) 弦高調整用として1円玉(1.5 mm)、500円玉(1.8 mm)が目安として使えます。



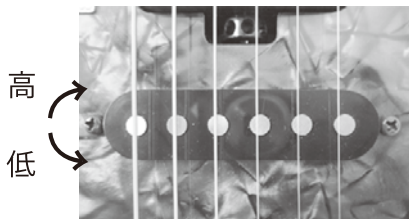
9-2. オクターブ調整

オクターブ調整は、開放弦と12フレットを押さえた時、同じチューニングとなるように調整することです。ギター用チューナーを見ながらブリッジのそれぞれの調整用ねじをテールピース側からプラスドライバーを回して調整します。ドライバーを時計方向に回すと低い音程に、反時計方向に回すと高い音程に調節できます。



9-3. ピックアップ高さの調整

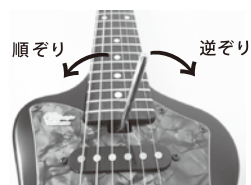
ピックアップは、プラスドライバーでピックアップの両側のねじを調整することにより、ピックアップを高くも低くも調整できます。ドライバーを時計方向に回すとピックアップは高くなり、反時計方向に回すと低くなります。



9-4. ネックのそりの調整

トラスロッドの調整はかなり熟練を要するため、自信のない方は、専門家の方をお願いしてください。

順ぞり方向には、ギターを正面にし、スポークホイールナットを付属の専用レンチで反時計方向に回してください。回す角度は一度に大きく回さないでください。せいぜい5～10度程度ずつこしずつ回しながら調整して下さい。逆ぞり方向に持つて行くには、スポークホイールナットを時計方向に同様に回し調整して下さい。



10 製品仕様

- ボディ : アッシュ
- ネック : メイプル
- 指板 : ローズウッド
- フレット数 : 23フレット (0フレットを含む)
- ネックスケール : 25.5インチ (647.7mm)
- 全長 : 755mm (突起部含む) 重さ : 約2.5 kg
- アジャスタブルトラスロッド : スポークホイールナットタイプ
- ピックアップ : シングル×3
- ブリッジ : ゴトーGE-103B
- コントロール : 1ボリューム、1トーン、5 wayトグルセレクタ
- フィニッシュ : つや消しブラック
- デタッチャブルチューナー : SGTオリジナル (PAT. PEND. 2012-157323)
- ピックガード : 各種



株式会社 イスジ-テクノロジーズ

〒245-0051 横浜市戸塚区名瀬町553

名瀬553ビル3F

TEL 045-443-8601 FAX 045-443-8608

E-mail: sales@sgtech.jp URL: http://sgtech.jp